

11月の進路選択の目標

1. 志望校候補の中から、「自分に合った」学校を志望校として絞り込もう。
2. 出願や合格に必要な条件を把握し、受験日の重なりがないことを確認しよう。

私立入試相談とは何ですか？

ある私立高校のホームページに次のようなQ&Aが掲載されていました。

Q：入試相談とは何ですか？

A：中学校の先生と本校（高校）のスタッフとの間で12月中旬に行う相談会です。それぞれの受験生が出願基準を満たしているかを確認し、合格の可能性をお伝えします。推薦入試や併願優遇入試・第一志望優遇入試で出願する受験生には必須です。この入試相談で入試区分と出願コース、受験日が決まります。入試相談の結果は中学校の先生から受験生に知らされます。

この回答のとおり、中学校と高校の学校間での相談会を指します。私立高校の推薦受験や優遇受験には必須となるので、これらを検討している生徒は、入試相談が必要になることを知っている必要があります。では、どのように入試相談をお願いしたいと申し出ればよいのでしょうか。今号では、入試相談の準備と実施について皆さんと理解を進めたいと思います。

○11月8日（金）～15日（金）

第3回進路希望調査を実施しますので、受験予定校を絞り込んでください。

○11月29日（金）

高校に提出する調査書に記載する見込みの評定（3科・5科・9科）を個別に口頭で伝えます。特に私立高校については、出願資格を満たしているかを確認し、受験予定校を調整してください。翌日以降に個別相談会を実施している学校には訪問することが可能です。

○12月4日（水）～10日（火）

冬季三者面談が行われます。担任の先生に調整した受験予定校を伝え、推薦の希望や優遇受験の希望があれば、あわせて伝えてください。私立高校については、推薦基準や優遇基準を満たしていることを再度確認します。その後、希望に合わせて「推薦願」や「入試相談願」が手渡されますので、記入して提出し、推薦や優遇受験の希望を願い出ます。

○12月15日（日）以降

中学校と高校との間で入試相談が行われ、優遇可否の結果が分かり次第、一人一人に伝えます。

※一方で高校と受験生・家族との間で行い、受験生から個別に質問できたり、出願基準の確認をしたりする相談会を「個別相談」と言います。出願基準の達成に向けて、今後どのように取り組めばよいか具体的にアドバイスしていただきますので、私立高校の志望者はぜひ参加してください。

都立推薦入試の豆知識・その1

先日、黄緑色の冊子「令和7年度 東京都立高等学校募集案内」を配布しました。これは、私立高校の生徒募集要項に相当するものです。都立高校への進学を希望する人は、よく読んでください。

さて本紙では、先生向けの案内書である「東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目」から伝えたい情報を分割して取り上げ、「都立入試の豆知識」として連載します。初めは推薦入試についてです。

第 1 推薦に基づく選抜

- 推薦に基づく選抜として、一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦（以下「特別推薦」という。）及び理数等特別推薦（以下「特別推薦（理数）」という。）を設ける。
- 推薦に基づく選抜の目的
 - 1 一般推薦
基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。
 - 2 特別推薦
各都立高校の個性化・特色化を推進するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。
 - 3 特別推薦（理数）
科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探究の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の考えを深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

簡潔にまとめると、一般推薦では「課題解決の力やコミュニケーション能力など、これからの社会で必要な力」が評価されます。特別推薦では「各校の個性化・特色化に寄与する、個人の卓越した能力」が評価されます。特別推薦（理数）では「探究と課題解決の力や他者に学んで創造する力など、変化の続く社会で必要な力」が評価されます。求められる力が何なのかをはっきりさせると、合格に向けた意識づくりがより一層進みます。自己PRの内容に織り交ぜられるとさらによいでしょう。

理数等特別推薦を知っていますか。立川高校と科学技術高校の創造理数科で行われている選抜方式です。科学分野に高い興味関心があり、研究活動などの創造的な活動に意欲がある生徒は受検を考えてみるとよいでしょう。皆さんの才能の生かし方は、思っているよりまだたくさんあるかもしれません。

この先の進路選択に関する提出書類について

1. 受験用証明写真の撮影・購入申込票（10月24日（木）～11月5日（火））

このお知らせはすでに配布されたものです。インターネット出願が主流になった現在は、シール式の証明写真を必要とする出願が減少しています。都立高校でも「正面上半身脱帽、本年10月1日以降の撮影、顔に影がなくはっきり確認可能、本人のみが写っているもの」という基準を満たせば、家庭で撮影したものでよいことになっています。私立高校も「写真票」に貼り付けて出願するという学校は減っています（詳細は入試要項を確認してください）。

そのため、一昨年より写真業者が学年の全生徒を一人ずつ撮影するという形式はとっていません。受験予定校の出願に必要な写真の準備方法を確認し、必要であれば、配布したお知らせの申込票にて撮影・購入を申し込んでください。なお、記載の実費を当日持参してもらいます。

2. 第3回進路希望調査票（11月8日（金）～15日（金））

進路希望調査としては、最終回になります。11月29日（金）に仮の評定が伝えられますが、その数値が1学期より上昇した場合、変化しなかった場合、下降した場合をそれぞれ想定して、志望校を記入します。推薦入試や優遇受験の希望も尋ねますので、家族でよく相談をしてください。第2回の調査の後にお伝えしましたが、学校名や科・コース名を正式名称で、漢字で正しく書きましょう。

最終回の調査ではありますが、この後に志望校を変更できないものではありません。ただし、これ以降に全く新しい学校を志望するとなると、その学校の説明会や個別相談会への参加をしていくこととなりますので、限られた期間で納得のいく選択ができるようにしてください。

3. 調査書記載事項確認書（11月8日（金）～15日（金））

調査書は、高校入試の出願に必要な書類の一つで、氏名、生年月日などの学籍の記録や、各教科の学習の記録、総合的な学習の時間の内容及び評価、諸活動の記録等、高校が選抜に必要な事項を記載した文書です。その記載事項の中の、学籍の記録と諸活動の記録について、皆さんに記載内容を確認します。そのうちの学籍の記録については、調査書の作成に使用する本校の学籍管理システムの登録内容に間違いがないかどうかの確認を求めます。

一方で諸活動の記録とは、学級・生徒会・学校行事等の特別活動のほか、学校外の活動（習い事やクラブチーム、地域活動等）も含めた活動の事実や実績を客観的に記述します。基本的には、教員が記入し、校長先生が確認するものですが、特に学校外の活動については学級担任の先生もその全てについて報告を受けたわけではないので、記述すべき内容を皆さんに尋ねます。皆さんの様々な活動の成果から、積極的な態度や意欲をもって取り組んだ活動、自分や周りの生徒により影響を与えた活動、中学校3年間の継続的な活動や各学年の特筆すべき活動を選び出し、記述すべき内容として申し出てください。なお、個人内評価の部分や人間性、例えば感性などの長所や、将来の可能性、進歩の状況などを主観的に記述するものではありません。

中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) について

一昨年度から中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J) が本実施になり、都立一般入試の得点の一部として活用されるようになりました。詳細が伝わり次第、生徒には授業でお知らせしますが、先行して本紙で概要をお知らせします。

- 実施日** 令和6年11月24日(日) 午後0時30分集合 午後1時開始 午後3時40分解散
予備日：令和6年12月15日(日) ※特段の事情がない限り通常実施日に必ず受験
※急な欠席は、申込時の「保護者用マイページ」から保護者が連絡します。
- 会場** 東京都立稔ヶ丘高等学校 東京都中野区上鷺宮五丁目11番1号
(参考) 関東バス荻06・07系統にて中村橋駅方面乗車「鷺宮四丁目」下車徒歩15分
(参考) 関東バス荻10系統にて下井草駅方面乗車「下井草駅」下車徒歩10分
(参考) 西武バス荻12-1系統にて南田中車庫方面乗車「八成橋」下車徒歩14分
※なお、学校行事ではなく、入試の一環のため、先生による引率はありません。
- 持ち物** 受験票 (保護者用マイページまたは生徒用マイページから各自がダウンロード・印刷)、
受験の手引き (後日配布)、生徒手帳、筆記用具 (テスト中のメモは不可)、上履き、
待機時間用の自習教材 (1時間強の前後半制で、自身が受けない待機時間に使用)
※スマートフォン等は持参しないことが原則です。持ち込まれた通信機器は回収され、
試験終了後に返却されます。
- 服装** 正装をお勧めします。 ※英文が表示されている着用品は不可
- 結果** 令和7年1月下旬に個人レポート受取予定 (予備日受験の場合は、令和7年1月末)
※生徒用マイページ、保護者用マイページには令和7年1月7日に結果を公開
- 活用** 日頃の学習で身に付けた「話すこと」の力がESAT-Jで評価され、その結果が都立入試
に活用されます。
- その他** 手持ちの通信端末で、二次元コードを読み取ってアクセスし、参考にしてください。

東京都教育委員会サイト内中学校英語スピーキングテスト特設ページ

・説明動画、過去の問題、都立入試への活用等について説明あり

